



11月は児童虐待防止推進月間 いちはやく知らせる勇気つなぐ声

虐待されている子どもたちを、守ることができるのは「あなた」かもしれません。
問い合わせ 子育て支援課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9700）

標語・写真・厚生労働省・内閣府

表 子どもや保護者が発するSOSサイン

子ども

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴っている声が聞こえる
- 不自然な外傷（あざ、打撲、やけどなど）がある
- 衣類や身体が極端に不潔である
- 食事に異常な執着を示す
- ひどく落ち着きがなく乱暴、情緒不安定である
- 表情が乏しく活気がない

保護者

- 地域や親族などと交流がなく、孤立している
- 小さい子どもを家に残したまま、よく外出している
- 子どもの養育に関して拒否的、無関心である
- 子どもを甘やかすのは良くないと強調する
- 子どもに対して拒否的な発言をする
- 気分の変動が激しく、子どもや他人にかんしゃくを爆発させることがある

SOSサインを見逃さないで!

しつけは、子どもが自分で感情や行動をコントロールできるように大人が教えることで、虐待は、子どもの行動を暴力などでコントロールすることです。しつけのつもりでも、子どもにとって有害な行為であれば虐待です。

しつけと虐待は違う

児童虐待とは、子どもを守るべき立場の保護者が、子どもに心理的・身体的な危害を加えたり、きちんとした養育を行わないなど、子どもの心と身体を傷つけ、健全な成長を損なうことです。

虐待の芽を知らせるSOSサイン

虐待を防止するためには、早い段階で見つけて、対応することが重要です。

怒鳴り声や、子どもの泣き声が聞こえたり、いつもと子どもの様子が違うなど、変だと思ったらそれは子どもや保護者からのSOSサインかもしれません。（表）

周りの大人は迷わずに連絡して

子どもは、自分から「助けて」と言うことが難しく、周囲の大人が気付くことが必要です。

一人で悩まないでみんなで子育てしよう

子育ての悩みは誰にでもあります。そして、子育てを応援したいという人もたくさんいます。まずは信頼できる人や相談機関へ話してみましよう。

児童相談所や帯広市は、通報を受け付けるだけではなく「子育てがづらい」「子どもの気持ち分からない」などの保護者の相談にも応じます。

▽相談窓口

帯広児童相談所（☎22・5100）
子育て支援総合センター 子育て支援課（☎25・9700）

児童相談所全国共通ダイヤル
（お近くの児童相談所につながります）

☎ **189** いちはやく

24時間

帯広市児童虐待防止110番

☎ **21-0110**

「おびひろ子育てナビ」
子育て情報を発信中！
QRコードで簡単アクセス⇒



(広報)

おびひろ

Public Information OBIHIRO

平成29年 (2017年) **11**
No.1122 November

発行: 帯広市
編集: 政策推進部広報広聴課
〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111 FAX(0155)23-0151
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

9月末の人口と世帯数

人口▶167,657人 (前月比+17人)
男▶80,066人
女▶87,591人
世帯▶87,172世帯 (前月比+14世帯)

9月の火災発生件数

2件 (前月比+2件)

9月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,389t (前年同月比-160t)
資源ごみ(Sの日)量 578t (前年同月比-51t)

今月の紙面

インフルエンザ予防接種費用を補助 …… 2

インフルエンザのまん延を防ぐため、65歳以上の高齢者と、受験期の中学3年生・高校3年生を対象に、予防接種の費用を補助します。

みんなで守ろう 地域の救急医療 …… 4

点検しましょう 住宅用火災警報器 …… 5

市長と語ろう! 「防災」と「子育て」 …… 14

フードバレーとかち フードバレーとかちは、十勝の強みである食と農林漁業を生かした地域成長戦略です。